

ふるさとキャンプ

1 事業のねらい

北海道の先住民族であるアイヌ民族の歴史・文化の概要を学ぶことをとおして、郷土への誇りや愛着を育む。

2 事業の概要

- 期日 R2.12.20(日) 日帰り
- 対象 小学校4～6年生
- 人数 9名
- 場所 ネイパル深川・旭川市クリスタルホール・旭川市博物館
- 協力 旭川市博物館

3 プログラム

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
受付	バス移動	開会式	アイヌ文化クイズラリー	昼食	アイヌ文様コースター作り	閉会式	バス移動	解散	

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 体験的なアイヌ文化学習
 - ・アイヌ文化クイズラリーは、問題を学芸員と相談しながら作成した。小学4年生にとっては難しい問題もあったが、6年生を含めた縦割りのグループ活動にすることで、参加者全体がレベルの高い活動ができるようにした。
 - ・対象年齢を考慮すると、作業を交えた体験的な活動が効果的であると考え、アイヌ文様コースターづくりを取り入れた。
- 郷土への興味関心を高める構成
 - ・班分けを北海道や施設近隣の市町の花、アイスブレイクを北海道の野生動物にちなんだ内容で行った。



クイズラリーで館内巡り



アイヌ文様を学ぶ創作活動

5 事業の評価

- アンケートから
 - ・「郷土への誇りや愛着」の項目で「とても高まった」が77.8%、「高まった」が22.2%であった。
- 参加者の声
 - ・寒い北海道でアイヌの人々がどのような工夫をして生活していたのかを知ることができてよかった。
 - ・アイヌの人々の歴史や文化についてもっと調べてみたくなった。
 - ・アイヌ文化だけではなく、北海道のいろいろなことを知りたいと思った。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートで「郷土への誇りや愛着」の数値が高かったことから、博物館との連携による充実した資料や、クイズラリーなど体験的な活動を多く取り入れたことにより、郷土への愛着が高まったものと考えられる。
- アイヌ文化のほか、各地の伝統芸能や特産物など多様なアプローチにより北海道の魅力を感じられる事業展開も考えられる。



企画のポイント

博物館との連携による充実した資料提供や、学芸員等の専門家による学習活動の実施

われら〇〇発見隊

1 事業のねらい

道南の歴史や文化に触れ、人間の知恵の深さや継承されてきた技術の素晴らしさに気付くとともに、自然との調和を大切にしながらつながってきた生命の尊さを知る。

2 事業の概要

- 期日 R3.1.30(土)～31(日) 1泊2日
- 対象 小学校4～6年生
- 人数 19名
- 場所 ネイパル森
- 協力 今金町教育委員会、一般財団法人道南歴史文化振興財団

3 プログラム

	9:00		11:00		12:00		13:00	14:00	17:30		19:00	20:00	21:00	22:00
1/30 (土)					受付	開会式	活動①	活動② 石器時代編	夕食	活動③ キャンドルアート	入浴	就寝準備	就寝	
1/31 (日)	起床・朝食	清掃・点検	活動④ 縄文時代編	まとめ	閉会式									

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 古代人の生活を想像する
 - ・石器づくりと縄づくりの体験によって、古代の道南で暮らしていた人々の生活をイメージできるようにした。
 - ・石器や縄文遺跡に詳しい講師2名を招き、自ら学び探求することの楽しさを伝え、参加者が興味をもてるようにした。
 - ・アイヌ文様をモチーフとしたキャンドルアートを体験することで、古代人が火を大切にしてきたことなどを感じることができるようにした。
- わかりやすく生命の尊さを感じる
 - ・ふりかえりでは、絵本「いのちのまつり」を用いて、古代からの「命のつながり」をイメージできるようにした。

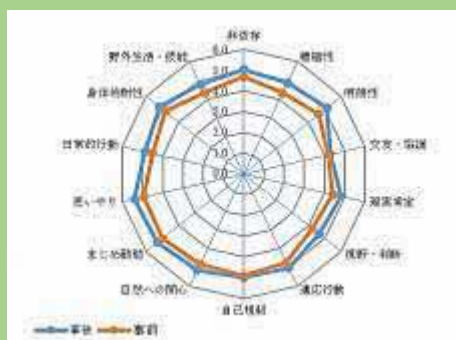


石器づくりの技術を知る



古代人は火に願いを託した

5 事業の評価



- IKR 調査による変化
 - ・全項目で 0.1～0.5 数値が向上
 - ・変化の少なかった項目は「交友・協調」と「自己規制」
- 参加者の声
 - ・古代人の生活の知恵と勤勉に働くことの大切さを知った。
 - ・祖先がだれか一人でも欠けていたら自分は生まれていない。自分も命を大切につないでいきたい。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加者から「古代人の生活についてよくわかった」との声が多かったことから、当時の人々の生活の知恵や技術などについて、専門家からの説明を加えることによって、理解が深まったものと考えられる。
- 古代からの技術の素晴らしさに気付かせるために、時間内で作業を終えることができるよう、活動の難易度や材料の仕込みなどを工夫する必要がある。



企画のポイント

地域の文化や歴史などに関する興味・関心を高め、学びにつながる教育資源の活用